



水と人が奏でるハーモニーのまち

宝達志水町

議会だより



■平成30年第2回定例会	2
■質疑	5
■討論	6
■一般質問(6名)	11
■委員会ノート	12
■視察報告	14
■町議会日誌	16

第53号

(宝達保育所 5歳児)

武道館改修工事請負契約の締結を否決！

※ 関連記事 (P5 質疑、P6 討論)

小学校及び保育所統廃合特別委員会を設置

※ 関連記事 (P3)

平成30年 第2回定例会(6月7日~15日)



第2回町議会定例会が、去る6月7日から15日にかけて開催され、補正予算関係の議案4件、条例6件が可決されたほか、平成29年度専決補正予算関係7件、専決条例6件が承認されました。

最終日に追加提案された宝達志水武道館改修工事請負契約の締結についての議案では、1人が棄権する中、賛成5、反対5の同数となり、地方自治法第116条第1項の規定により議長が裁決することとなり、否決となりました。

また、懸案となっている小学校・保育所統廃合問題については、議長を除く11名の議員による特別委員会が全員の賛成により設置されました。

平成30年度 補正予算の採決の状況

会 計 名	補正後の予算額	補正額	採決の状況	
一 般 会 計	70億1,256万5千円	5,256万5千円	全員賛成で可決	
特別会計	国民健康保険	14億8,956万9千円	36万7千円	〃
	介護保険	18億2,588万9千円	140万5千円	〃
企業会計	病院事業	16億1,747万5千円	1億5,800万円	〃

◎平成29年度 専決補正予算額と採決の状況

会計名		補正後の予算額	補正額	採決の状況
一般会計		73億3,235万8千円	▲8,415万6千円	全員賛成で承認
特別会計	国民健康保険	19億6,274万2千円	3,523万5千円	〃
	後期高齢者医療	1億9,068万7千円	▲426万1千円	〃
	介護保険	17億1,782万4千円	▲2,000万8千円	〃
	ケーブルテレビ事業	6,699万2千円	▲518万6千円	〃
企業会計	水道事業	4億8,421万3千円	-	〃
	下水道事業	14億2,688万3千円	-	〃

小学校及び保育所
統廃合特別委員会

委員長に小島昌治議員、
副委員長に久保喜六議
員を選出

北議長は、6月15日
の最終日「小学校及び
保育所の統廃合の問題
は、全町民の関心事で
あることはもちろん、
町の宝である子供たち
に、より良い教育・保
育環境を提供していく
大変重要な問題であり、
議会としてもこの課題
解決に向け、町執行部
と一体となって取り組
んでいく必要がある。」
とし同特別委員会の設
置を提案しました。



北 議長

◎条例関係

◆ 宝達志水町墓地条例の一
部を改正する条例

目的・概要

平成31年度から奉祖見霊
園の維持管理に係る費用を
墓地管理料として、1年に
つき1区画1500円を利
用者から徴収する。

〔全員賛成〕



奉祖見霊園

◆ 宝達志水町税条例の一部
を改正する条例

目的・概要

中小企業が行う生産性向
上の設備投資に固定資産税

(償却資産) の課税標準を
2020年までの3年間、
全額を減免する。

〔全員賛成〕

◆ 宝達志水町国民健康保険
条例の一部を改正する条例

目的・概要

国民健康保険に加入して
いるものが死亡したとき、
その者の葬祭に係る費用を
支給する場合について、別
途、健康保険法等の規定に
よりこれに相当する給付を
受けることができるとする。
支給しないこととする。

〔全員賛成〕

◆ 宝達志水町特定教育・保
育施設及び特定地域型保育
事業の運営に関する基準を
定める条例の一部を改正す
る条例

目的・概要

法改正に基づき、条項ず
れとなった箇所の改正を行
う。

〔全員賛成〕



◆ 宝達志水町放課後児童健
全育成事業の設備及び運営
に関する基準を定める条例
の一部を改正する条例

目的・概要

国基準の改正に基づき、
放課後児童支援員の有資格
について、教員の免許状を
有する者としたほか、有資
格の条件緩和のため、「5
年以上放課後児童健全育成
事業に従事した者であって
町長が認めたもの」を追加
した。

〔全員賛成〕

◆ 宝達志水町特別職の職員

で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

目的・概要

法改正に基づき、農業委員会等の会長、委員及び農地利用最適化推進委員の報酬の額に新たに能率給を定め農地利用最適化交付金事業を実施する。

〔全員賛成〕



◆ 宝達志水町指定地域密着

型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正

する条例

目的・概要

国基準の改正に基づき、共生型地域密着型サービスに関する基準についての規定等を追加する。

〔全員賛成〕

◆ 宝達志水町指定地域密着

型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防

サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

目的・概要

国基準の改正に基づき、ユニット型指定地域密着型介護老人福祉施設における供用型指定介護予防認知症対応型通所介護の利用定員の規定等を追加する。

〔全員賛成〕



◆ 宝達志水町指定介護予防

支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

目的・概要

国基準の改正に基づき、連携先として、「指定特定相談支援事業者（障害者の相談機関）」等関係規定を追加する。

〔全員賛成〕

◆ 農地中間管理機構関連土

地改良事業に係る特別徴収金に関する条例

目的・概要

農地中間管理権が設定された農用地を対象とした県営の土地改良事業において、施行地域内の農用地について、目的外用途への転用や農地中間管理権の解除をした場合に、特別徴収金を徴収する。

〔全員賛成〕

◆ 宝達志水町税条例等の一

部を改正する条例

目的・概要

法改正に基づき、個人・法人住民税、固定資産税、町たばこ税について、所要の改正を行う。

〔全員賛成〕

◆ 宝達志水町国民健康保険

税条例の一部を改正する条例

目的・概要

国民健康保険税の基礎（医療保険分）課税額の限度額並びに5割及び2割軽減判定所得額を引き上げるほか、特例対象被保険者（非自発的失業者）に係る申告について、マイナンバーによる情報連携により把握できる場合は、「雇用保険受給資格証明書」の提示が不要になる。

〔全員賛成〕

第1回臨時会

4月26日

人事関係

○教育委員会委員の任命

大崎 勤成氏（上田出）

（任期は、平成30年5月10

日から4年間）

議案に對する質疑

質疑 金田議員



金田 之治 議員

平成29年度にこの町で生まれた子供の数が64人と聞いている。まず、南部保育所、相見保育所については近年建てられたということで、そのまま使用し続けるのと、そして、北大海第一保育所は、42年経過していると聞いているが、これを改修する。また、中央保育所については、移転して建替えるということで提案されている。町長に就任してから、わずか1年半で町の財政がそこまで踏み込める状態になったのか疑問を感じている。以前、全国1800の自治体のうち下

から20数番目、県内19市町の中では、一番下位という順番であったと記憶している。そんな中で、1年半足らずで改修、新築移転というようなことができるのか。その結果、財政負担が重くのしかかり子供、孫たちにならぬか大変心配している。そして、今議会には、統合の案は出たものの予算は一切なし、さらに時期についても明示無しということが不可解でならない。

答 町長
かつては、苦しい財政状況であったが、就任してから大きく好転したという状況ではない。しかしながら、より良い保育環境、保護者への負担軽減などを含めて子育て支援を総合的に進めていくには4つの地域にバランスよく配置することが必要であると考えている。財政面については、将来への大きな負担とならないよう実施していきたい。また、

予算の計上、時期等については、今後さらなる検討の上で告示したい。

追加議案（武道館改修工事 請負契約の締結について）



久保 喜六 議員

質疑 久保議員

6月6日の北國新聞において、官製談合情報のおり免田産業と勝二建設の共同企業体が落札したと掲載されていた。このようなことは町として大変不名誉なことであり情報公開、町民からの信頼回復の観点から何点か伺います。平成25年に行われた押水総合体育館の耐震補強工事とは違い、構造体に影響を及ぼす工事ではないと思うが、いかがか。

答 町長
ご指摘のとおり、建物の構造に変更を加えるような

工事ではない。

質疑 久保議員

今回の武道館改修工事は、予定価格が1億8000万円の共同企業体による一般競争入札だったが、等級別発注基準はどのようになっているのか。また、これらの経審の点数及び年間平均完成工事高の決定理由は。

答 参事兼財政課長

改修工事であり、本体の構造を変更するような工事でないことや最近の県内自治体の建設工事発注事例等により、Aランク、最上位基準点780点以上という格付けの業者を選んでいる。施工実績についても、県内自治体の発注事例等により要件を決定している。

質疑 久保議員

国では、「公共工事の発注は、単体発注を基本的とし、共同企業体の活用は技術力の結集等により、効率的施工が確保できる範囲に留める」とあるが、今回の武道館改修工事は、普通の

工事であり、共同企業体としての発注の必要性がないと思われるが、いかがか。

答 町長

金額が2億円近くあることや最近の事例を参考にしたほか、効率的な施工が可能であると判断した。

質疑 久保議員

武道館の改修工事の件について、ボルダリングの工事は、どの部分に入っているのか。入っているとすれば、委員会でも相当議論があったと思うが、安全面について非常に心配している。なぜ、拙速に急ぐのか。

答 町長

安全面の確保については、教育厚生常任委員会で具体的に説明した。しっかりと行っていく。

答 生涯学習課長

内部の改修工事の中で、トレーニングルームの改修の一部としてボルダリングの設置が入っている。

討論!



小島昌治 議員

専決処分事項について問題提起する

本定例会に上程された議案にすべて賛成し、専決処分された平成29年度一般会計補正予算についてだけ賛成討論を行う。

今回、平成29年度予算執行終了時に見込まれる剰余金を減債基金に1億2728万円余を充てたという報告への承認が議案に求められている。減債基金とは、3月当初予算審議時に地方債の返済計画を立てるものです。今回は新たな返済の計画

もなく年度決算前に1億2千万円を超える剰余金を減債基金に積み立てる。これは、違法とまでは言えないが、総務省指導への反発・挑戦ともいえるのではないだろうか。

前年度剰余金を計画もなしに、財政調整基金でなく減債基金に積むというのは、1億2千万円を超える新規の事業を専決処分で行うような性質のものである。

町の財政状況は県内でも中間近くに位置するところまで改善されたと認識している。町民の願いは借金返済第一から、暮しや福祉の充実が第一に代わってきている。議会の中からも剰余金をため込むのではなく「区の要望事項をするべき」とか「下水道利用料金を値上げ前

に戻せ」という意見が複数ある。町民要望実現へのかじに切り替えることを求め賛成討論とする。

追加議案に対して

武道館改修工事の請負契約の締結に

反対

すべての議員は、雨漏りする武道館改修には賛成である。

しかし、武道館に設置されるボルダリング施設について異論が出ている。理由は、町の競技人口は3人と説明されたからです。にもかかわらず、1千万円の予算を加えてボルダリングの施設を武道館に設置しようという町長の提案である。

町長は、財政がまだ大変だという趣旨の発言を様々なところでされている。どうして、町内競技人口3人のボルダリング施設のために1千万円の予算をつけるのでしょうか。また、ボルダリング施設を作ってほしいという町民団体からの要望もありません。「ボルダリ

ング施設を作るから町民にボルダリングを通して体を鍛えてほしい」これは、委員会での町長願望を述べられたものであるが、予算は町長のものではなく、町民の願いを反映させるものだという事を忘れるべきではない。武道館にボルダリング施設のスペースだけ作って置いて、町民のボルダリング熱の高まりと町民の設置願望の高まりとも

に後でボルダリング施設を作るということが自然なのではないか。ボルダリング施設は、町民願望があいまいな今急ぐべきではありません。これは、この問題でこの議会期間中、私が多くの町民の方々の意見を聴取した結果である。ボルダリング施設を除けば、今回の落札価格1億9千万円が、1億8千万円に下がる。よって、ボルダリング施設の設置予算を抜いた再入札を行うことを提案し、今回の武道館改修工事の請負契約の締結に反対するものである。

設置願望の高まりとも

保育所・小学校の統廃合について



土上 猛 議員

町長 過去の統廃合検討委員会では、
入所児童が30人未満で廃所とある。

一般質問 「町政を問う」 (町政全般にわたる質問)

問 土上議員

保育所の統廃合について、町長は、現在5か所の保育所のうち、宝達保育所を来年3月をもって廃止し、北大海第一保育所と中央保育所は改築・移転の方針を発表された。また、報道では、4つの保育所の存続理由を「ゆとりある環境で子供を育てることが重要」と述べられている。①その意味は何か。②また、保育所を建設したり、改築したりするその経費は何億もかかるが、その余裕は町にあるのか。

答 寶達町長

『ゆとりある保育』とは保育士の数・保育所の面積・設備にも余裕があり、児童が多すぎず、落ち着いた環境で保育士の目が行き届くという意味である。また、平成27年度の小学校および保育所統廃合検討委員会の報告書には「入所児童が30人未満となった保育所は廃所する」とある。ち

なみに、宝達保育所は平成30年度の入所者が25人です。加えて、施設の劣化・損傷も著しいことから、廃所とした。保育事業は、児童一人一人の大きな成長のために、また、永き将来にわたり地域の礎を築くために大切であり、財政状況には十分配慮しつつ、良好なサービスを提供する。

再質問 土上議員

宝達保育所を廃所すると幼児は他地域の保育所へ行くことになる。そして、宝達地域の幼児が小学校へ上がるときは保育所でせつかく仲良くなつた他地域の友達と別れて存続している宝達小学校へ行くということになる。子どもにとって、本当にそれでいいのか。子供を中心に考えた場合併りをする必要があると思うがいかがか。また、北大海第一保育所は新しく建てる計画はないということなのか。

答 寶達町長

宝達保育所を廃所した場合、宝達地区の幼児は相見保育所や北大海第一保育所を自由に選択していくこととなりますが、小学校入学時、保育所の友達関係が一次的に切れてしまったりとかということがあってもいい。しかし、宝達小学校に入学したら、先生方や上級生、地域の皆さんとよい環境の中で過ごして、よい環境をつくりつつ、学習やいろいろな活動に励んでもらえると思う。

また、北大海第一保育所と宝達保育所の統廃合で新築は現在のところ考えていない。



宝達保育所

問 土上議員

小学校の統廃合について、町長は2020年度以降を想定すると発表していますが、なぜ、その時期なのか。

答 寶達町長

将来は押水地区1校、志雄地区1校の方針です。時期や場所には検討が必要なたため、お時間をいただきたい。保護者などへの説明会は、統廃合時期および場所が固まった段階で開催する。時期は設計や補助金の申請手続きや工事期間、統廃合の準備委員会の協議にかかる期間を考慮すると3年以上後になる。

その他の質問

問 部活動の週休二日制の下での中学校における部活動について

町民総意の町総合計画の策定を

町長 多様な意見が反映できるように取り組む



柴田 捷 議員

問 柴田議員

第1次町総合計画が平成31年に終了し、今年度から第2次宝達志水町総合計画策定作りが始まる。これは今後10年間の町づくりの指針となるものである。

策定に当たっては、町長の考える総合計画の基本的な考え方、計画の審議会の組織・運営とはどのようなものか。総合計画は町民の総意であるべき。町民、議会の関与が重要。町長の方策は。

答 寶達町長

策定にあたって、町民の意向調査や進捗各段階での報告を行い、町民と行政が丸となって町づくりを行える計画となるように留意する。総合計画の審議会は、議会、町内の公共的団体の代表者や分野の方々、委員を委嘱し、ご審議いただく。パブリックコメントや議会への報告を行い、ご意見を取り入れたい。

再質問 柴田議員

審議会には各分野、各年代、男女などいろいろな分野や角度から組織し、調査、審査することが重要である。それが町民の総意に結びついていくのではないか。

答 寶達町長

ご指摘のとおり、審議会において、できる限りの多様な意見が吸収でき、刺激が受けられるような取り組みになるようにと考えている。



第1次町総合計画書

問 柴田議員

JR七尾線の利用促進について、今年度、能登総合開発促進協議会、県並行在来線負担金としてあわせて182万円余りを支出することになっているが、これがどのように生かされ、また、県には七尾線の在り方についてどのような話ができるのか聞きたい。

答 寶達町長

能登総合開発促進協議会の負担金は、当町の今年度負担額は2万4千円である。石川県並行在来線運行支援負担金は関係市町が拠出し、11年間で総額30億円の規模の基金造成を行う。本町の負担金は一年あたり、180万円、11年間で1980万円の拠出予定である。その使用目的は乗り継ぎ割引支援や運賃の値上げ抑制に活用されている。

問 柴田議員

駅駐車場について、ほとんどがJR七尾線の利用者である。駐車場の有料化は、七尾線離れを助長しているのではないかと本町が金沢市に近く、町民の誰もが将来にわたり住み続けたいと思える町づくりを展望するならば、この駐車場の在り方も検討が必要ではないか。

答 寶達町長

確かに、敷浪駅、宝達駅、免田駅の利用者数は平成27年度以来、減少している。駐車台数も減っている。駅駐車場の利用収入は220万円、管理費用・経費は約80万円である。利用料金については、タウンミーティングでも伺ったが、徴収手続きの簡素化には力を入れてやっていきたい。また、料金については改めて、検討していきたい。

町民の意見を聞いてオープンに

町長 説明会など随時お知らせしていく



久保 喜六 議員

一般質問 「町政を問う」 (町政全般にわたる質問)

問 久保議員

宝浪漫マラソンの現状と、先の教育厚生常任委員会での質疑や意見を踏まえての進捗状況を聞かせてほしい。また、海岸を通るコースとなっているが浜が荒れて通行できない場合、踏切の遮断機が下りた場合のタイム計測や各地点の関門設置時に無理がないのかも聞かせてほしい。

答 寶達町長

申込状況については、6月5日時点で合計572人となっており、道路使用許可については、8月中にはすべての許可が下りる予定である。実行委員会と連携し準備にあたっていく。

問 久保議員

宝達志水病院が開院して1年が経過した。病院建設時に早期の黒字が求められていたかと思うが、収支については目標に対

してどのような状況なのか。機関紙「大空」では、地域包括ケアシステムの構築に積極的に取り組むため、事務局長を招聘したとの記載があった。本町の計画はどのようになっているのかお聞きしたい。

答 寶達町長

新病院となって1年が経過し、順調な状況と考えている。病院改革プランにある病床機能については、8床を地域包括病床とした。

問 久保議員

5月25日の新聞で保育所・小学校の統廃合の記事が報道された。町長は、先のタウンミーティングや議会では、統廃合計画については、町民の意見を聞いたうえで、議会とも相談しながら進めたいとしていたと思う。

しかし、先日の全員協議会でいきなり同案が提

示され非常に驚いたところである。タウンミーティングの集約結果、統括についてもまだ聞いていない中で方針決定はいかなるものか。この度の方針決定に至った会議、検討会等の経緯を教えてください。また、従来案から変更となった要因は何か、具体的に示してほしい。

答 寶達町長

タウンミーティングの総括は、議事録の公表をして示している。統廃合方針を決めるにあたっての会議は、庁内関係者が参加する中で判断してきた。

再質問 久保議員

小児科再開のため、関係機関と協議を進めていると思うが、進捗状況を聞きたい。

次に、保育所・小学校の統廃合について、方針を決めるにあたって検討

会と言うのはあったのか。あったとすれば、何回開いて、メンバーは誰であったのか教えてほしい。

答 寶達町長

検討会なる会議は、私、教育長、学校関係、学校教育課、健康福祉課のほか参加が出席し、その中で数回会議を開催して方針について検討してきた。

再々質問 久保議員

議会を尊重してというのであれば、その方針を決めるまでの過程においてももう少し丁寧に説明し、情報公開しながら進めてほしい。

答 寶達町長

今後も、各進捗状況は、随時お知らせしていく。

子浦川の改修について

町長 県に早急の復旧を強く要望している



塚本 勇仁 議員

問 塚本議員

子浦川は、豪雨時に災害の口火になると思われる箇所が2か所ほどある。五千石水門下流の仮復旧か所と聖川信号近くの河川堤防が浸食により路面沈下している2か所である。所管する石川県に早急に働きかける必要があるが、いかがか。

答 寶達町長

いづれのか所についても石川県に早期の復旧を強く要望しているところである。また、中洲の除去についても強く要望していく。

問 塚本議員

各集落では、民生委員、健康推進委員、美化推進委員など、町からの依頼により推薦している。しかし、山間地域の(高齢化が進む)少数世帯の集落においては、一度委員を引き受けると次に引き受けてくれる人がいなく

なるという現実がある。集落の委員の人選や町に

対しての推薦は区長に任せられているため、なり手がいない集落では、結局は区長自身が引き受けざるを得ない状況となっているところもある。

さて、ただでさえ忙しい区長が、区長の仕事に加わえ、それ以上の委員の仕事も担わされている現状を町長はどのようにお考えか。

答 寶達町長

確かに、小規模集落が単独で委員を決めることが困難な時には、校下単位の近隣集落との連携も選択肢の一つではないかと思っている。町としては軽減策を検討していきたい。

農業特産物の支援とその強化を

町長 特産物などでJAはくいと連携強化し出荷拡大・新商品開発を行う



林 稔 議員

問 林議員

ブドウのルビーロマンやイチジクなどの特産品作りにおいて、高齢化や後継者問題、若者が就農して生活していけるかどうかなど、解決しなければならぬ問題がたくさんある。特産品の支援と強化についてどのようにお考えか。

答 寶達町長

昨年度、宝達志水町農産物等ブランド化推進事業補助金交付要綱を策定し、支援を強化した。本年度は、地域振興作物のイチジク、スモモ、チンゲン菜、花木など、関東や関西の市場に出荷している特産物について、JAはくいと連携強化し、出荷拡大や新商品開発に取り組んでいきたい。後継者対策や担い手の確保でも各種団体の協力を仰ぎ進めていきたい。

一般質問 「町政を問う」 (町政全般にわたる質問)



小島 昌治 議員

①病児保育の充実を
②非婚世帯の寡婦控除適応充実を

- 町長 ①検討してみる
②県や他市町と取り組んでいく

問 小島議員

①平成27年、厚生労働省が自治体に「大事な子育て支援策」である、4種類の「病児保育」を実施するように通達を出している。一つは町内では相見保育所で行っている「病気の回復期にある児童を保育する」病後児対応型保育、そして二つ目には、町内では実施されていない「病気の回復期に至らない児童を保育する」病児対応型保育など、他2種類を加えて計4種類の「病児保育」です。今、宝達志水病院敷地内に新しい中央保育所建設が計画されていると聞いています。その際に、病児対応型の保育のスペースを設けることは、医療機関との連携や看護師の配置問題など、低予算であり、子育て中の親にもとても有利。なぜ、踏み切らないのか？

答 寶達町長

病児対応型の保育事業には、義務ではないが小児科医の常駐が必至だと考えている。宝達志水病院には小児科医がおらず、実施は難しい。

問 小島議員

厚生労働省の通達には看護師がいることが病児保育の条件になっている。小児科医の常駐の必要性は言っていない。それでも、町長は小児科医の常駐がどうしても必要とおっしゃるのなら、次のことをお聞きしたい。
①全国の病児対応型保育の実施中に、小児科医が常駐しなかったために、重篤な事態になった事例があるのかどうか。
②私の知り合いの小児科医は、「病院との連携が大事なのであって、小児科医にこだわらなくてもいいですよ」と言っている。町長の言う小児科医の常駐の必要性を言っているのはだれなのか。



答 寶達町長
病児対応型保育も検討してみよう。

答 健康福祉課長

国に合わせて非婚者のひとり親に対する寡婦控除のみならず適用の実施を検討したい。

問 小島議員

②次の子育て支援についての質問は、結婚歴があるかないかで同じ母子世帯なのに法律での差別がされている問題についてです。
今年内閣府や厚労省が保育の面で一歩前進をさせましたが、依然として

差別が残ったままです。地方税や所得税の控除や公営住宅家賃控除などは同じひとり親世帯なのに、非婚世帯だと適用できません。町長はひとり親世帯の子育て支援を充実させていく答弁をかつてされています。全国多数の自治体が行っている寡婦控除のみなし適応を国の事業の前に町は実施する考えは？

答 寶達町長

県や他市町と問題意識を共有し、取り組んでいきたい。

その他の質問

問 志賀原発の安全協定対象自治体に宝達志水町がなることの重要性

問 町の「第3次障害者計画」に障害者の方が65歳になった時の問題を反映させる重要性

委員会ノート

総務産業建設常任委員会

(6月13日)

ものがあり調整できなかつたが、今後は不用額が確定した時点で減額をする。

問 平成30年度当初予算で総合計画策定事業費600万円を計上、契約額は950万円あまりとなっているが、どうしているか。

答 2カ年に渡る事業で、債務負担行為で400万円を設定している。2年間で1千万円の事業費として入札を行った。業務完了は、平成31年12月を予定している。

問 基金への繰入金が大きいのではないか。町長は指導力を発揮し、集落からの要望を取り上げ、仕事をすべきではないか。

答 平成29年度から過疎債が発行でき、財政に余裕ができた。各集落の要望に対し、しっかり取組みたい。

問 広域農道の通行止め告知看板の注意喚起がもっと必要ではないか。

答 今補正予算で看板を大きくしたり、増設するなど対応したい。

問 広域農道法面崩壊対策工事について県への働きかけ等早期の対策が必要ではないか。

答 早期事業採択に向け、関係機関に働きかけていく。

問 新規就農総合支援事業の対

象範囲や条件とは。

答 年齢45歳未満の者。就農計画として新規就農5年後に4町歩まで生産を伸ばす者。町等の審査を経た収納意欲のある者。



教育厚生常任委員会

(6月11日)

問 宝達小学校の道徳教育推進校は今年度のみか。取組、他校との違いは何か。

答 今年度のみ。他校に道徳教育の情報を発信していく役割を担っている。

問 道徳教育の点数の付け方は。

答 数字による評価はしない。道徳的価値項目があり、道徳的価値に迫る事ができたかについて、記述で評価する。

問 道徳教育の評価により、見かけ上の良い子ができそうな心配はないのか。

答 建前だけで終わらせない。道徳、本音で語れる道徳を目指している。

問 第一小学校の用務員配置は、今までなかったのか。

答 用務員は以前から配置されている。臨時職員での対応予定を嘱託職員の配置となつたため、差額分を計上した。

問 小学校統廃合は、いつを目途に進めるのか。

答 いろいろな問題をクリアし、工事の事も考え進める。工事は3年以上かかると思われるが、協議を重ねできるだけ早く進めていきたい。

問 3年の目途とは、工事の都合か。時間をかけて進めていく内容は何か。

答 方針を決めた以上は進めていきたい。いろいろなことに時間をかけ、協議していく。工事だけではない。

問 工事のためだけではないというが、それは何か。

答 志雄、押水地区1校を検討していきたい。課題の中の一部。少なくとも3年はかかるのではないかと思っっている。場所も関連してくる

ため時間を頂きたい。

問 がん検診は、何割の方が受けているのか。

答 概ね20から25%の方が受診している。

問 高齢者の予防接種は、対象者に対して何人が受けているのか。

答 肺炎球菌の対象者1160人に対し、接種者548人、インフルエンザの対象者約5千人に対し、2596人の方が予防接種を受けており、受診率は概ね40から50%となっている。

問 人間ドックの受診者は何人か。

答 受診者は31人。

問 がん受診率は低くないのか。がん検診の対象年齢は。

答 県内で比較すると特に低くない。女性ががんの対象年齢は20歳から。その他の対象年齢は40歳から。

問 墓地管理料1500円の根拠及び管理、徴収方法は。

問 管理料の用途は、除草を年間3回、光熱水費に充てる。住民課で口座振替もしくは納付書で徴収を行う予定。

問 墓地管理料徴収に対する反対意見には、どのようなものがあったか。

答 「水道を使用していないので、管理料が高い。」「墓を建てていないのに徴収するのはおかしい。」「建立者と未建立者の料金に差をつけるべきではないか。」など4件の意見があった。

問 コンビニでの証明書の交付件数は。

答 2月1日から5月末までの間に88件。月平均20件の利用があり、住民票、印鑑登録証明書の発行が多い。

問 自立支援型住宅リフォーム推進事業費補助金の申請件数及び1件当たりの予算は。

答 2件あるが、1件は入院中のため保留。平成27年度5件175万円。平成28年度1件54千円。平成29年度2件1009千円とばらつ

きがある。

問 議案第39号国民健康保険税条例について従来2重交付されたことはあるのか。

答 2重交付されていた事例はない。

問 健診率が上がると国からの支援金が変わるが、今回下がったその背景を承知しているか。他市で子どもの均等割りの減額に踏み切ったが基金のこういう使い道についての考えは。

答 健診率が上がると国保会計の補助金が増え、歳入が大きくなる。保険率も広域化により一元化することが考えられる。均等割りにしても統一を考えていく必要がある。

問 介護保険の積立金が大きい。3月時に把握していれば、保険料の設定に影響があったのでは。6月に保険料を決定することはできないか。

答 特別な例が可能かどうか承知していない。

病院運営特別委員会

(6月8日)

問 解体工事費には土壌調査、土壌改良、放射能の調査は含まれているのか。

答 今回の工事費には含まれていない。地歴調査の結果では、土壌汚染の可能性は低い。跡地利用を考え、安心安全のため、詳細な土壌調査が必要と考えている。

問 小児科医の再開の用途は。外来の再開ができるよう、今後も努力は続けて行く。

答 包括ケアシステムの現状は。現在、宝達志水病院、健康福祉課、地域の開業医、介護施設の皆さんと在宅医療介護連携協議会を行っており、町の資源をどのように生かすかを検討している。大変難しく、すぐに構築はできないが、着実に一歩ずつ進めていきたい。

ふるさと人口対策

(6月4日)

問 推進会議のメンバー、委員の任期及び会議の開催回数。

答 各種団体の長、公募、PTA関係者、大学教授、金融経済の方々、20名で構成。公募委員の任期は計画期間が終了するまでとなっている。年2回開催している。

問 集落間交流促進事業は将来を見据えた計画になっているか。

答 現在、モデル地区として実施している北志雄地区だけでなく、今後、その他の地区でも取組みを紹介し広げていきたい。

問 空き家バンクを町内地域毎にバンク登録件数の目標設定を行ってはどうか。

答 区長と相談し積極的に進める。空き家バンクの目標設定を検討していく。

問 結婚アドバイザーの活動内容を町は把握し、今後の展望に連携した取組みを行っているか。

答 定期的に協議し、意見交換を行っている。

問 総合戦略の今後の展開について。

答 国の方針に則り、引き続き人口減少問題に取り組み。

問 移住相談の窓口での対応はどのように行っているのか。

答 県の相談窓口アイラックを活用し相談を行っている。町の窓口は、企画振興課で制度の説明を行っている。

問 倒壊等の判断基準、空き家バンク登録などの対応基準はあるのか。

答 空き家として提供する基準は特にない。貸し手側と借りて側で決め、当事者間で軽微な補修を行い住めると判断後、登録する仕組みとなっている。



委員会視察報告

○常任委員会

合同視察

★平成30年6月26日～28日
 ★目的 離島である八丈島に町を挙げての再生可能エネルギー政策と観光事業による集客など、その取り組み事例について



(八丈島地熱館前にて)

今回、常任委員会合同視察研修会ということで、9名の議員が参加しました東京から287キロと離れた八丈島八丈町は、人口約7500人、

面積は約69km²ひょうたん型をした5つの集落からなる町です。

今回、現地視察した八丈島地熱館は、人が住む離島で初めて作られた地熱発電所で島内電力の約3割を占め、安定的に発電を行っています。町の基本構想にある「グリーンアイランドを目指す町」を掲げ、再生可能エネルギーの活用に取り組んでいました。取組の一環として、既設の地熱発電所の更新時期を迎えるにあたり東京都の協力を得て、新たな地熱発電事業者をプロポーザル方式により公募し、オリックス(株)と協定を締結したものでした。化石燃料に依存しない再生可能エネルギーの活用を促進するなど、基本構想にあった政策を推進しており、本町の第2次総合計画も構想・計画・実施と一体となった整合性のある計画となっています。注視していきたいと思

○病院運営

特別委員会

★平成30年7月26日～28日
 ★目的 へき地医療拠点病院としての地域のかかわり方とその役割について



(朝比奈院長と飯富病院前にて)

今回、視察研修会に訪問したところは、山梨県身延町の組合立飯富病院です。
 2町の人口が約1万4千人で高齢化率も43%を超え高齢化率では本町(36%)を上回り山梨県で最も高齢化が進んでいる山村過疎地域であり、そこで拠点となる病院でした。

特徴的であったのは、月曜日から金曜日まで無医地区への出張診療を行っていることでした。また、介護老人保健施設を併設し、医療に必要な人への連携を図っているほか訪問看護ステーションを開設し、在宅医療支援センターも併設するなど在宅患者の医療・看護の充実を図るため、福祉と医療のネットワークが機能的に働いていました。

本町でも今回の訪問地域と同じように高齢化が進むことが予想され、訪問先の病院の施策が大変参考になり、今後の施策につなげていきたいものです。

○ふるさと人口対策

特別委員会

★平成30年8月1日～2日
 ★目的 仕事や住宅の提供など移住・定住のサポート体制の整備について



(加賀市役所にて)

今回の視察研修会に訪問したのは加賀市役所です。加賀市においても人口減少が続いており、消滅可能性都市と指摘されたことから、平成28年に加賀市定住促進協議会を設立し、移住・定住のための事業を民間に委託して取り組んでいました。内容は、移住・定住相談サポート、情報発信、市内事業所への働き方改革に向けた改善提案、暮らし体験・仕事体験プログラムなど多くの事業を推進していました。本町でも取り組める内容もあり、今後に生かしていきたいと感じました。

○平成30年度町村
議会議長・副議長
研修会

★平成30年5月28日～29日

議長 長北 信幸
副議長 小島 昌治

全国町村議会議長会主催の研修会が、東京国際フォーラムホールで行われました。石川県内の町議会からはすべての議長・副議長が参加しました。

全国から1800名の町議会の議長・副議長がこの研修会に参加しました。江藤俊明山梨学院大学法学部教授(総務省)町村議会のあり方に関する研究会「委員」の基調報告がなされました。また、議会改革を促進した3つの町議会(町村議会特別

表彰を受けた)の議長がそれぞれ約1時間の講演を行いました。

①長崎県小値賀町(おぢかちょう)では、「町民の意見を直接町政へ」住民参加型の議会を目指して」をテーマに、議会での町議による一般質問と町執行部の答弁の後で、議会傍聴者なら誰でもその議員が行った質問の関連質問を町執行部に対し、3分間行うことができます。仕組みを作っています。

②福岡県大刀洗町(たちあらいちょう)では、議会モニター制度を導入し、議会への要望や提言をしてくれる人を議会広報誌に顔写真入りで紹介し(議会広報発行を一回発行するごとに8名～10名)、議会と意見交換を行っています。議会広報誌の記事は議会傍聴者の声を紹介するなど、議会と町民との交流型の紙面作りがされていました。

③徳島県那賀町(なかちょう)では、議会が高校生や商工会や老人会など、町の各種団体と意見交換会を開催し、議会が町民の声を直接聴く取り組みがスタートしています。そしてその町民の声に基づき、議会が条例案を作成したり、予算の修正を行ったりする取り組み

も始まっています。議会の一般質問では、議員がパワーポイントを利用してケーブルテレビを見ている人がわかりやすくなる改革が行われています。その結果を、議会モニターを募集し、意見を聴いて、議会運営に反映させています。

最後に、町村議会特別表彰を受賞した町議会では、議会開催のあり方も、議会活動も、そして議会広報誌作りも「住民との双方向型」がキーワードになって取り組まれていくことが特徴でした。宝達志水町議会も「町民との双方向型」にどう変えていけるのが求められている事を実感した全国研修会でした。

ようこそ、
我が町へ

6月から7月にかけて他町村の議会が視察に訪れました。

○福島県金山町議会

6月28日、総務文教常任委員会(奥委員長)一行7名が来庁しました。

★視察目的
・デマンドタクシーについて

○宮城県大衡村議会

7月5日、産業教育常任委員会(早坂委員長)一行7名が来庁しました

★視察目的
・小学校英語教育に対する取り組みについて
・心の教育事業について
・青少年国際交流事業について
・学校支援ボランティアについて



(東京国際フォーラムホールにて)

町議会日誌

4月～6月

【4月】

- 5日 小中学校入学式
- 9日 宝達高校入学式
- 11日 町民生児童委員協議会総会（アステラス）
- 16日 総務産業建設常任委員会
- 17日 議会運営委員会
- 20日 町体育協会総会
- 23日 開山祭（宝達山頂）
- 24日 県町村議会議長会定期総会並びに自治功勞者・県知事表彰式（内灘町）
- 25日 郡町議会議長会総会
- 26日 議会運営委員会
議会全員協議会
第1回臨時会

【5月】

- 7日 教育厚生常任委員会
- 8日 能登地区町議会連絡会総会（中能登町）
- 13日 町商工会通常総会（ネクサス）
- 17日 議会運営委員会
- 23日 広報編集特別委員会
- 23日 国道159号建設促進期成同盟会総会（七尾市）
- 24日 議会全員協議会
- 25日 宝達高校を支援する会
理事会（宝達高校）
- 28日～29日 県町村議会議長会議長・副議長研修会（東京都）
- 30日 例月出納検査

【6月】

- 1日 のと里山空港利用促進議員連盟理事会及び総会（県庁）
- 3日 YOSAKOIソーラ祭り出場チーム激励

- 4日 式（アステラス）
ふるさと人口対策特別委員会
- 7日 議会運営委員会
- 7日 第2回定例会開会
- 8日 病院運営特別委員会
- 9日 JAはくい合併20周年記念式典（羽咋市）
- 11日 教育厚生常任委員会
- 13日 総務産業建設常任委員会
- 14日 社会福祉法人渚会理事会（ちどり園）
- 15日 議会運営委員会
- 17日 議会全員協議会
- 17日 第2回定例会閉会
- 23日 郡市消防団連合訓練大会
会（志賀町）
- 24日 宝達志水関東ふるとと会総会（東京都）
- 25日 のと里山空港利用促進協議会総会（輪島市）
- 26日 例月出納検査
- 26日 国道159号羽咋道路整備促進期成同盟会（羽咋

- 26日～28日 常任委員会合同視察（八丈島）
- 27日 宝達山水源の森づくり協会理事会及び総会
- 28日 福島県金山町議会視察



(金山町議会来庁)

【お詫びと訂正】

議会だより52号において、塚本勇仁議員の名前、宝浪漫マラソン実行委員会事務局長岡部元彦氏の肩書、北極星産業(株)北橋茂登志社長の名前が間違っていましたので訂正いたします。

広報編集特別委員会

- 委員長 小島 昌治
- 副委員長 守田 幸則
- 委員 金田 之治
- 委員 久保 喜六

【編集後記】

一般質問の内容は、事前に議員より示されま
す。定例会での答弁を明
確にスムーズに行うため
です。しかし、最近、答
弁の根拠が町長から示さ
れないことが目立ちま
す。そのため、「再質疑」、
「再質問」が繰り返され
ることが残念でなりませ
ん。町民が一番聞きたい
ことを明らかにする議会
であり続けたいと願って
います。

(マサ)

平成30年9月1日 発行

■発行

石川県宝達志水町議会
〒929-1492
石川県羽咋郡宝達志水町子浦そ18-1
TEL(0767)29-8310 (直通)
FAX(0767)29-4623

■編集

宝達志水町議会
広報編集特別委員会



この印刷物は、E3PAのゴールドプラス基準に適合した地球環境にやさしい印刷方法で作成されています
E3PA：環境保護印刷推進協議会

この広報は高精細340線で印刷したものです。